



# 但馬水産技術センターだより



## 海況情報 (K2313号)

令和5年7月11日  
兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### 1. 日本海海況予報 (2023年7月中旬～9月)

日本海における海況の予報をお知らせします。

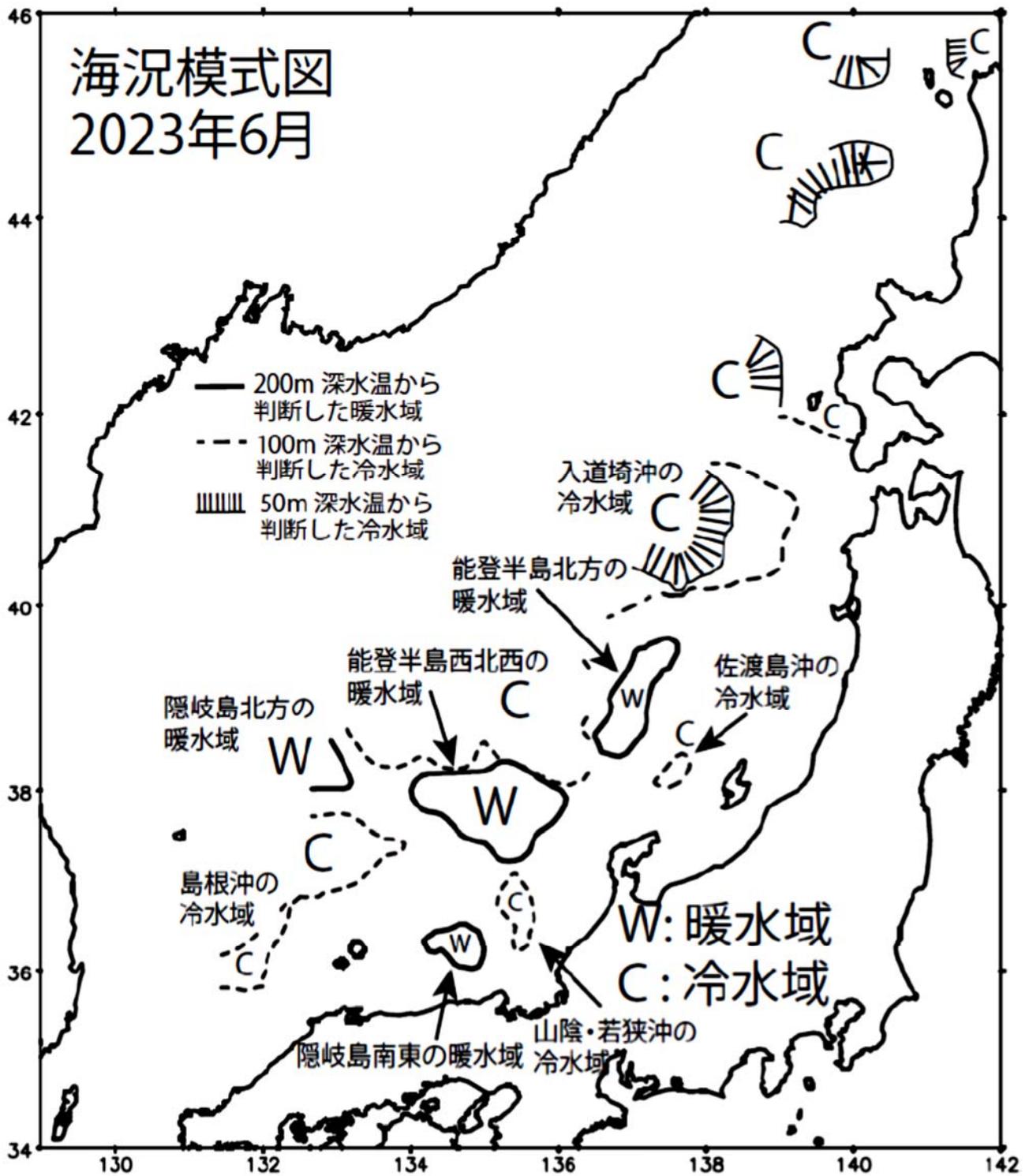
#### 資料1

- ・2023年度第2回日本海海況予報 (国立研究開発法人水産研究・開発機構 水産資源研究所) \*観測データの出所は但馬水産技術センターほか各道府県等。

(コメント:7月中旬～9月の見通し一部抜粋、別紙の「2023年6月の海況模式図」参照)

- ・ 隠岐島北方の暖水域は東進し消滅。
- ・ 隠岐島南東の暖水域は東進し消滅。
- ・ 能登半島西北西の暖水域は勢力を維持しながら定在。
- ・ 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は「やや小さく」、接岸状況は「やや離岸」で経過。
- ・ 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模は「やや小さく」、接岸状況は「平年並み」で経過。
- ・ 対馬暖流域の表面水温は、「やや高め」で経過。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに「やや高め」で経過。

お問い合わせ先: 兵庫県但馬水産技術センター (鈴木) TEL: 0796-36-0395 FAX: 0796-36-3684  
email: [nouringc\\_tajima@pref.hyogo.lg.jp](mailto:nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp)  
ホームページ: <https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/>



2023年6月の海況模式図

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構  
<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2023/index.html>

## 2023年度 第2回 日本海海況予報

### 1. 今後の見通し（2023年7月中旬～9月）

- (1) 隠岐島北方の暖水域と隠岐島南東の暖水域は東進し消滅する。能登半島西北西の暖水域は勢力を維持しながら定在する。能登半島北方の暖水域は勢力を維持しながら定在する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、やや小さくやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくはなはだ離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに“やや高め”で経過する。

### 2. 経過（(1)は2023年3月～6月、(2)～(3)は2023年3月～5月、(4)は2023年3月）

- (1) 3月に隠岐島北東に見られた暖水域は4月に停滞しつつ弱体化した後、5月に能登半島北西へ東進し、6月に南下して能登半島西北西に分布した。3月に隠岐島南東で見られた暖水域は4月に消滅した。3月に能登半島北西に見られた暖水域は4月に能登半島北方を経由しながら東進し、5月に北東に移動して秋田西方に分布した後、6月に消滅した。3月に山形県沿岸～佐渡島北方に見られた暖水域は4月に消滅した。4月に能登半島北西に出現した暖水域は北東に移動し、5月に能登半島北方に分布した後、6月に南へ勢力を拡大しながら停滞した。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月ははなはだ小さくやや離岸、4月はかなり小さく接岸距離は平年並み、5月ははなはだ小さくかなり離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、3月はやや小さく接岸距離は平年並み、4月はかなり小さくはなはだ離岸、5月はやや小さくやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、3月はやや小さく接岸距離は平年並み、4月はかなり小さくかなり離岸、5月はやや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、3月はやや小さくやや離岸、4・5月はかなり小さくはなはだ離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、3月は、山口北方、若狭湾北方、富山湾、佐渡島沿岸～北方で“かなり高め”～“はなはだ高め”それ以外は“平年並み”～“やや高め”。4月は、山口北方で“平年並み”、鳥取北方～丹後半島北方、佐渡北西で“やや高め”以外は“かなり高め”～“はなはだ高め”。5月は、山口西岸、丹後半島周辺、越前岬周辺、能登半島北西、上越沿岸で“やや低め”、山口北方～隠岐諸島北西、隠岐諸島周辺、能登半島北方、佐渡海峡、山形～秋田の沿岸～西方、津軽半島西方で“やや高め”～“かなり高め”以外は“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“やや高め”。

### 3. 現況（2023年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐島北方、隠岐島南東、能登半島西北西、能登半島北方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、かなり小さくやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、かなり小さく接岸距離は平年並み。佐渡沖の冷水域は、やや小さく接岸距離は平年並み。入道埼沖の冷水域は、かなり小さくはなはだ離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、佐渡島西方、秋田沿岸で“やや低め”、隠岐諸島北方、鳥取沖、若狭湾沿岸、富山沿岸、津軽海峡はるか西方、積丹半島西方、利尻島西方、北海道北部沿岸で“やや高め”、佐渡島北西、山形沿岸で“かなり高め”、それ以外は“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“かなり高め”。

(註) 引用符（“ ”）で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- |              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| “はなはだ高め（低め）” | : 22年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ（低さ） |
| “かなり高め（低め）”  | : 7年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ（低さ）  |
| “やや高め（低め）”   | : 3年に1回の出現確率である1℃程度の高さ（低さ）    |
| “平年並み”       | : 2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温   |

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構

<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2023/index.html>